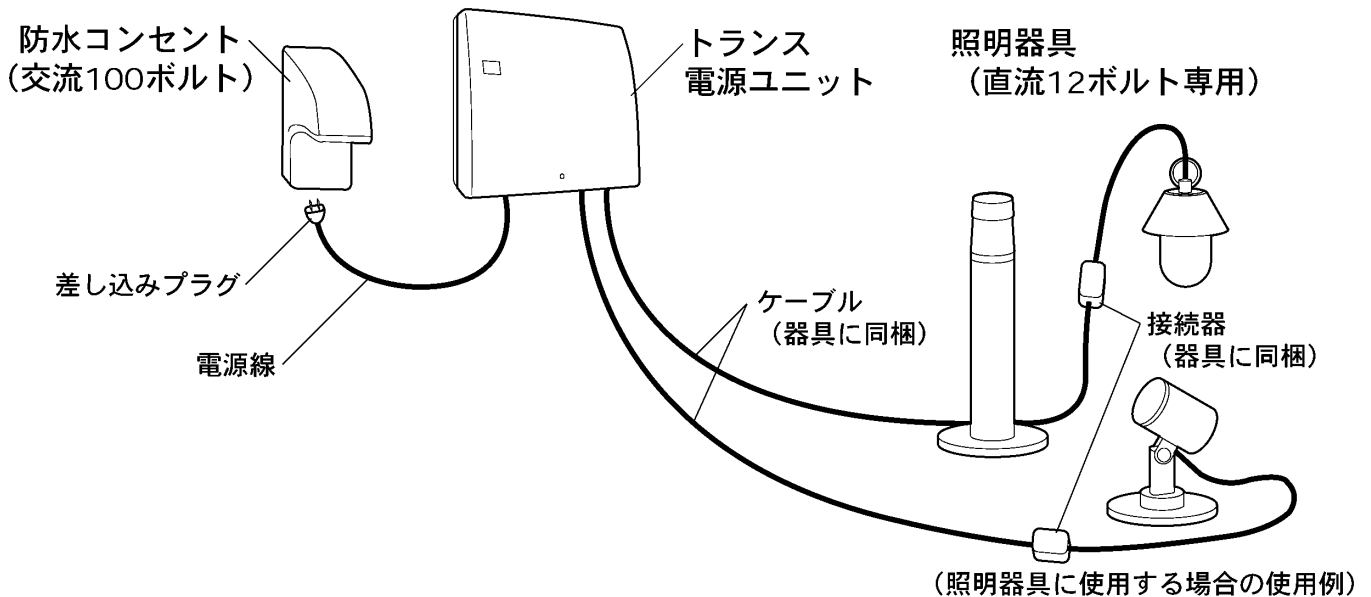


35Wタイプ

お買いあげありがとうございます。
 ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。
 そのあと必ず保管してください。

- このトランス電源ユニットは、交流100ボルトを直流12ボルトに変換し、直流12ボルト専用電動器具・照明器具に電気を供給するものです。
- タイマー機能、明るさセンサ機能付で照明器具のON/OFFを自動的に行います。



直流12ボルト仕様…特別な資格が不要で、安全に取付けができます。

もくじ

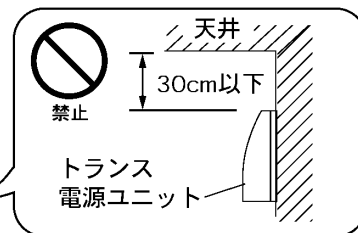
- 安全に関するご注意……………1
- 取付け上のご注意……………2
- 使用上のご注意……………2
- 付属品……………3
- 各部のなまえ……………4
- 取付けかた・設置のしかた……5～6
 - ・接続のしかた……7～8
- 使いかた・モードの合わせかた……9
 - ・現在時刻の合わせかた……9
 - ・明るさセンサの調整……10
- お手入れについて……………10
- 修理を依頼される前に……………11

取付け上のご注意

⚠️ 注意 取付けの際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で行うと感電の原因となります。

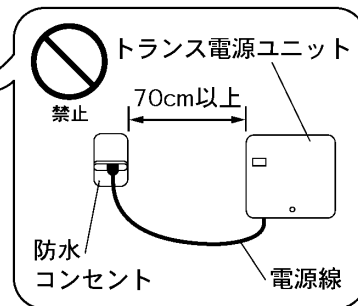
● 次の様な場所には取付けないでください。（明るさセンサの動作不良の原因にもなります。）

- ・ 昼間でも暗い場所……夕方、明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなる場合があります。
- ・ 夜間でも明るい場所……点滅を繰り返したり、点灯しない場合があります。
- ・ 車のヘッドライトや照明の光が、明るさセンサに直接あたる場所……ON、OFFをすることがあります。
- ・ 天井から30cm以下の場所……スペースがないとカバーの着脱ができません。



● 防水コンセントを設置してください。

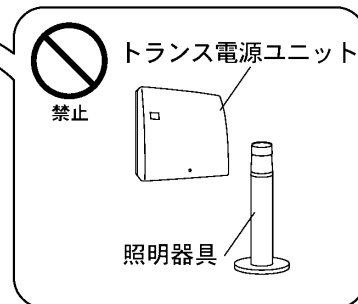
- ・ トランス電源ユニットと防水コンセントは70cm以上離れた場所に設置しないでください。
- 70cm以上の場所に設置すると電源線が届きません。



● 明るさセンサに自然光が入りやすい向きに器具を取付けてください。

● トランス電源ユニット正面に照明器具を設置しないでください。

点滅を繰り返すことがあります。



● 強度確保の為、下記の項目をお守りください。

- ・ 壁面の材質に合わせてプラグ等で取付けしてください。
- ・ 各部材の組立、取付けは施工・取扱説明書通り確実に行ってください。
- ・ ネジ止め箇所は、指定のネジで全て確実に行ってください。

● 防水性確保のため、下記の項目をお守りください。

- ・ 取付け面は凹凸のないように仕上げてください。
- ・ 施工後は必ずカバーを閉め、ネジ止めしてください。

● 施工時にトランス電源ユニットに付着したモルタルやコンクリート、薬剤等は速やかに清掃してください。

● 接着剤や化学製品を施工上使用する場合は、トランス電源ユニットと接触しないようにしていただくか、接触する部品を完全に養生してください。

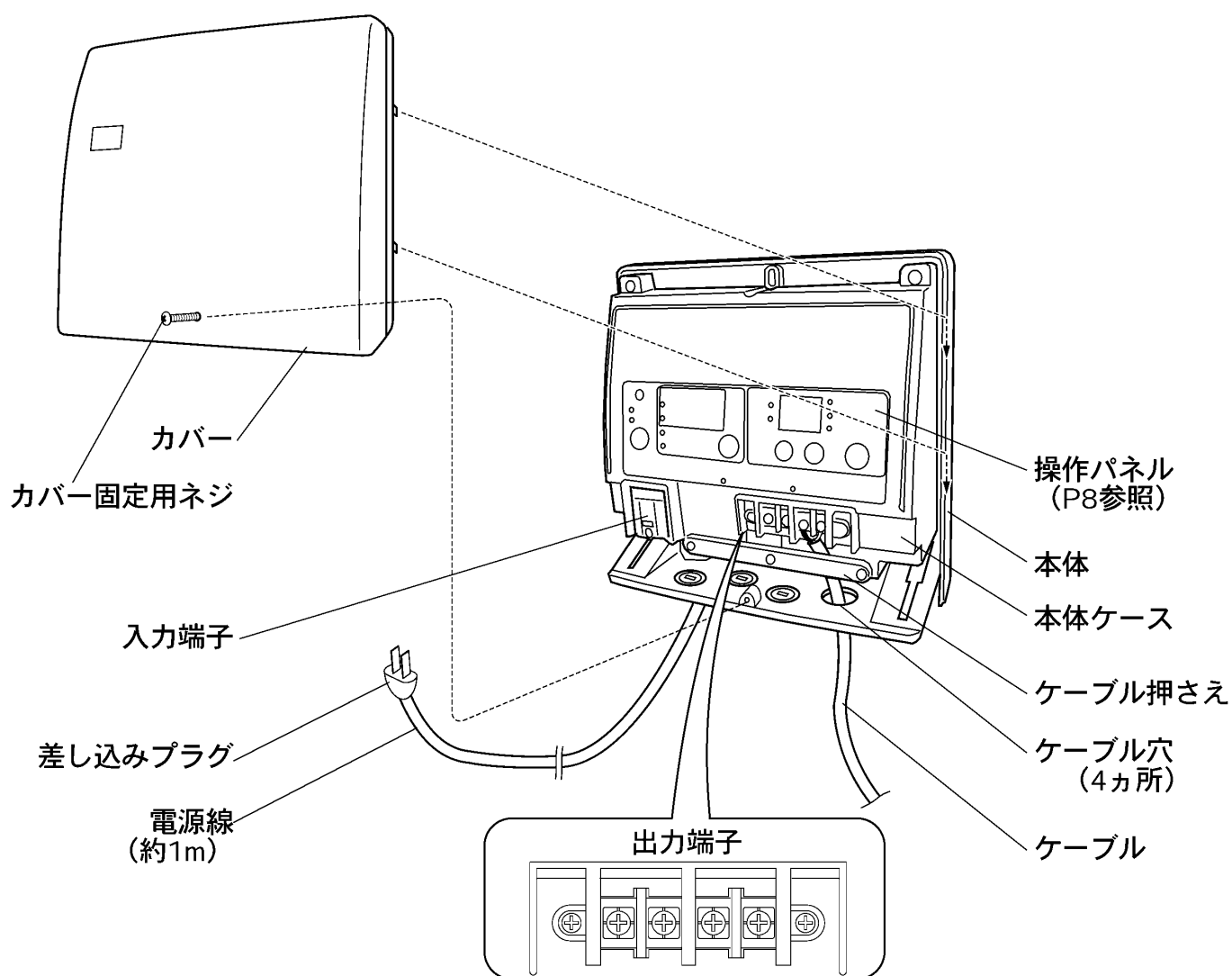
● その他、取扱説明書に記載されない方法で施工され、それが原因で故障等が生じた場合は、商品の保証を致しかねます。

使用上のご注意

● 旅行などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため差し込みプラグを抜いてください。（差し込みプラグを抜いた場合、現在時刻はリセットされます。）

● 接続する器具は必ず容量以下（最大35Wまで）でご使用ください。

各部のなまえ

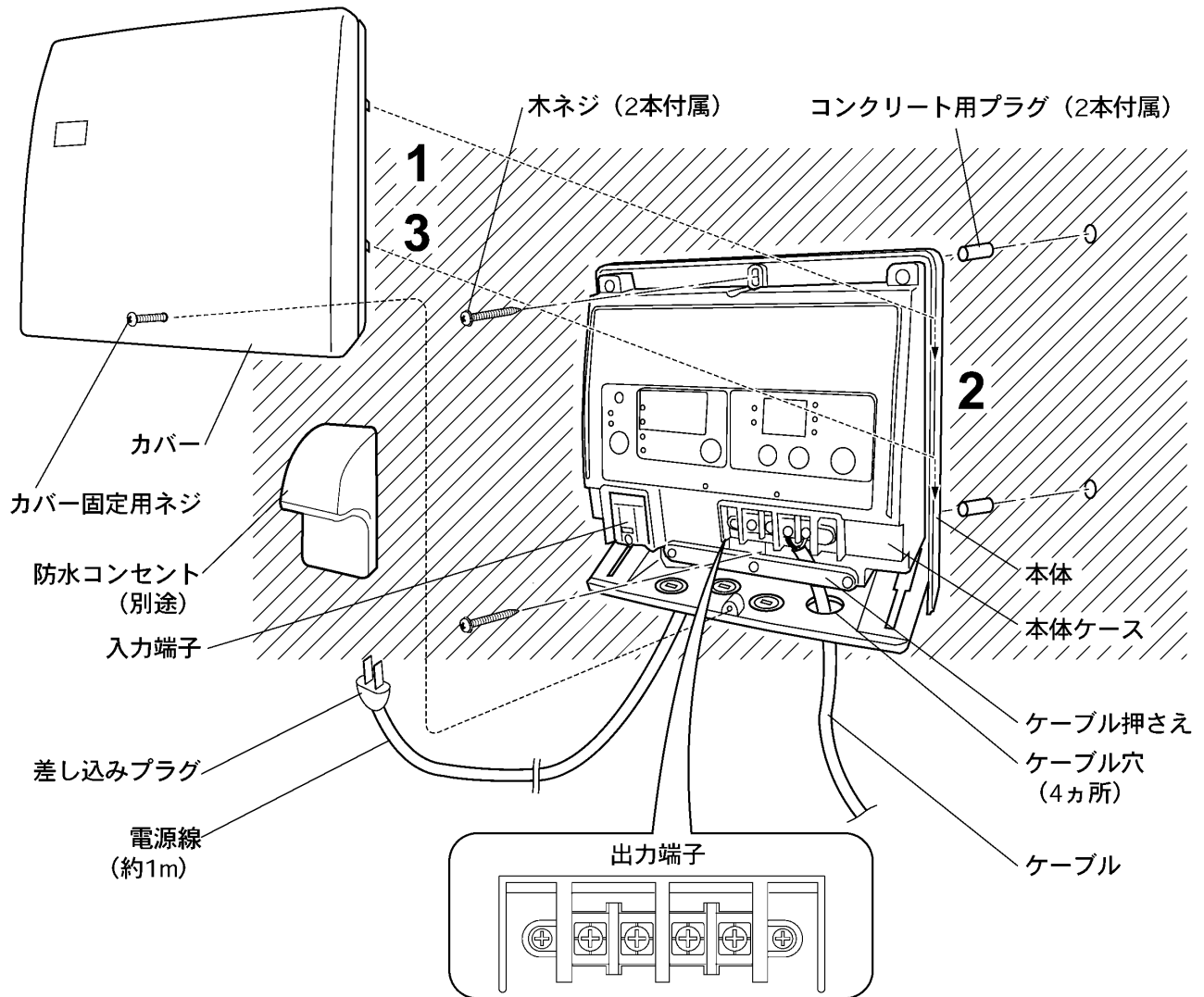


仕様

大きさ	幅216×高さ207×出しろ91 (mm)
重量	1.4kg
入力電源電圧	AC100V
周波数	50/60Hz共用
出力電圧	DC12V
負荷接続容量	最大35Wまで
電源線長	約1m
スイッチ	OFF時刻設定機能付 (1時間単位) 明るさセンサ調整機能付 (5段階)

取付けかた

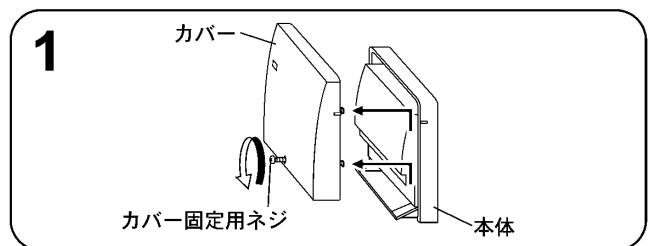
⚠注意 取付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となります。



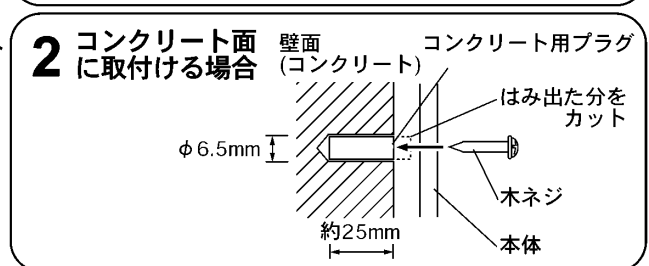
■壁面に取付ける場合

(防水コンセントから70cm以内の電源線の届く壁面に取付けてください。)

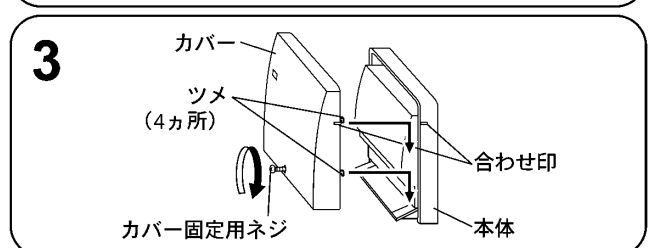
1 カバー固定用ネジをゆるめ
カバーをはずす
カバーを上にはずして、はずしてください。



2 補強材のある場所に付属の木ネジ2本で
本体を取付ける
●地面より30cm以上に取付けてください。
●壁面がコンクリートの場合…付属のコンクリート用プラグを打ち込んでください。
1.壁に穴をあける。(φ6.5mm、深さ約25mm)
2.付属のプラグを打ち込む。
3.はみ出た分をカットする。
取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

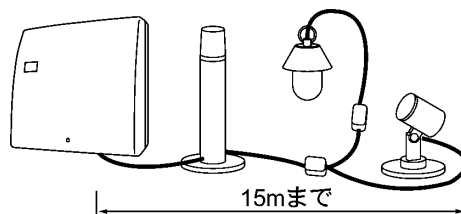


3 カバーと本体の合わせ印に合わせて
カバーを取付ける
カバー固定用ネジで確実に締付けてください。取付けが不完全な場合、感電・落下の原因となります。

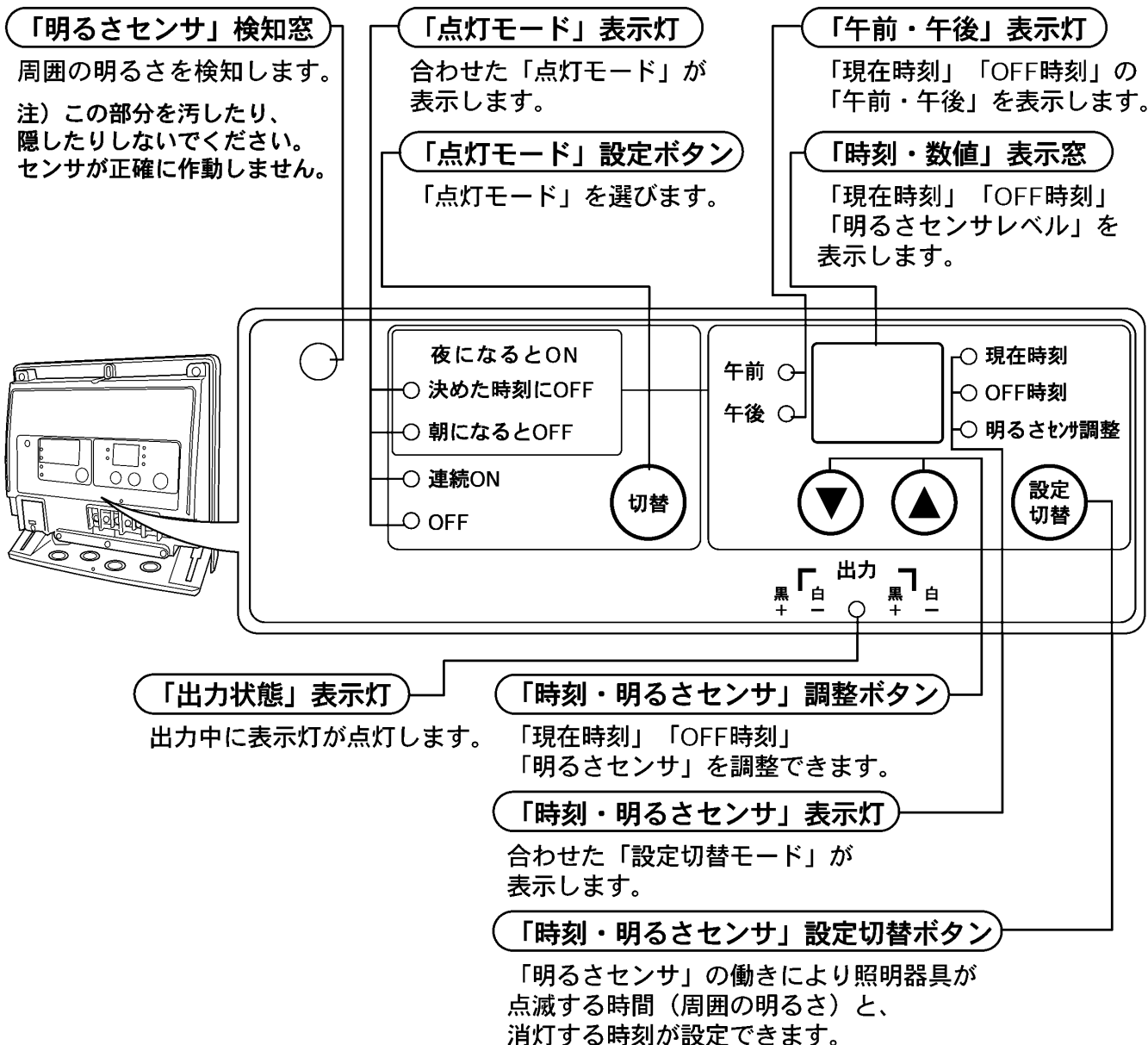


■配線長について

- トランス電源ユニットから末端器具までの配線長は、15mまでとしてください。
※15m以上で使用しますと、器具どうしの明るさに差が生じたり、点灯しないことがあります。



操作パネルについて



操作パネルの使いかた

1 使い方を選ぶ

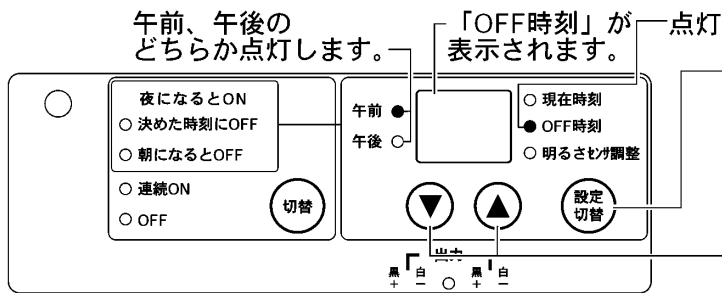
<p>●夜になるとON、決めた時刻にOFF</p> <p>「切替」ボタンを押し、「決めた時刻にOFF」を点灯させます。</p>	<p>点灯</p> <p>夜になるとON ●決めた時刻にOFF ○朝になるとOFF ○連続ON ○OFF</p> <p>切替</p> <p>午前 午後</p>	<p>→ 2へ</p>
<p>●夜になるとON、朝になるとOFF</p> <p>「切替」ボタンを押し、「朝になるとOFF」を点灯させます。</p>	<p>点灯</p> <p>夜になるとON ○決めた時刻にOFF ●朝になるとOFF ○連続ON ○OFF</p> <p>切替</p> <p>午前 午後</p>	<p>→ 4へ</p>
<p>●連続ON(電動商品の電源に使用する場合)</p> <p>「切替」ボタンを押し、「連続ON」を点灯させます。</p>	<p>点灯</p> <p>夜になるとON ○決めた時刻にOFF ○朝になるとOFF ●連続ON ○OFF</p> <p>切替</p> <p>午前 午後</p>	<p>→ 設定完了</p>
<p>●電源OFF</p> <p>「切替」ボタンを押し、「OFF」を点灯させます。</p>	<p>点灯</p> <p>夜になるとON ○決めた時刻にOFF ○朝になるとOFF ○連続ON ●OFF</p> <p>切替</p> <p>午前 午後</p>	<p>→ 設定完了</p>

2 「現在時刻」を合わせる

<p>午前、午後のどちらか点灯します。</p> <p>時刻が表示されます。</p> <p>点灯</p> <p>夜になるとON ○決めた時刻にOFF ○朝になるとOFF ○連続ON ○OFF</p> <p>切替</p> <p>午前 ● 午後 ○</p> <p>●現在時刻 ○OFF時刻 ○明るさ調整</p> <p>設定切替</p> <p>出力</p> <p>黒 白 黒 白</p>	<p>2-1 「設定切替」ボタンを押し、「現在時刻」に合わせる。</p>
	<p>2-2 「▼ ▲」ボタンを押し、「現在時刻」を設定する。(1時間単位)</p>
	<p>(「現在時刻」設定完了)</p>

- 時刻表示は1時間単位です。
- 「現在時刻」が設定されていない場合「朝になるとOFF」モードに自動的に設定されます。(表示は「決めた時刻にOFF」が点滅します。)
- 停電後は「現在時刻」はリセットされますので設定しなおしてください。

3 「OFF時刻」を合わせる



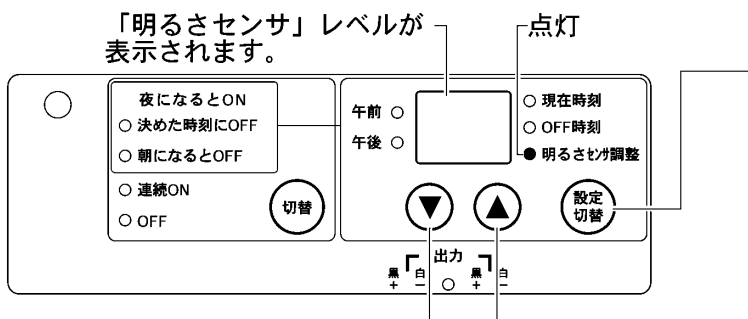
3-1 「設定切替」 ボタンを押し、「OFF時刻」に合わせる。

3-2 「 ∇ \blacktriangle 」 ボタンを押し、「OFF時刻」を設定する。
(1時間単位)

(「OFF時刻」設定完了)

- 時刻表示は1時間単位です。
- 朝4時以降に設定した場合は、時刻に関係なく「明るさセンサ」によりOFFになります。

4 「明るさセンサ」の調整により点灯開始時間(周囲の明るさ)を合わせる



4-1 「設定切替」 ボタンを押し、「明るさセンサ調整」に合わせる。

4-2 「 ∇ \blacktriangle 」 ボタンを押し、「明るさセンサ」レベルを設定する。

明るさセンサ	
レベル「1」	かなり暗めで作動
レベル「2」	暗めで作動
レベル「3」	やや暗めで作動
レベル「4」	やや明るめで作動
レベル「5」	明るめで作動

(「明るさセンサ」レベル設定完了)

- 照明器具が点滅を繰り返す場合は、「明るさセンサ」レベルを上げてください。
- 夕方4時以前に周囲が暗くなっても、点灯しない場合があります。

■ご注意

- 出荷時(初期設定)は、「連続ON」で設定されています。
- 初めて差し込みプラグを挿入後は「出力」、点灯モードの「OFF」が点灯し、設定切替モードの「現在時刻」が点滅していますが異常ではありません。(「現在時刻」が設定されていない為点滅しています)
約5分間、何も設定しない場合、設定切替モードの「現在時刻」が点滅しているのは消えます。
- 「現在時刻」「出力」「決めた時刻にOFF」が点滅しているときは、「現在時刻」を設定してください。点滅が点灯に変わります。
- 出力端子に何も接続しないで、出力をONにした後OFFにした場合、しばらくの間、「出力」は点灯したままですが異常ではありません。

お手入れについて



注意

お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となります。

- 安全にご使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)にお掃除、点検してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。丸洗いはしないでください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のものでふいたりしないでください。変質・変色・破損の原因となります。
- 器具全体を水洗いしないでください。火災・感電の原因となります。



ケーブル接続のしかた

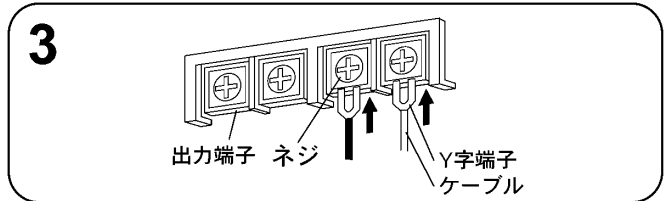
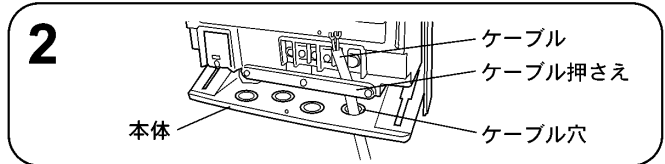
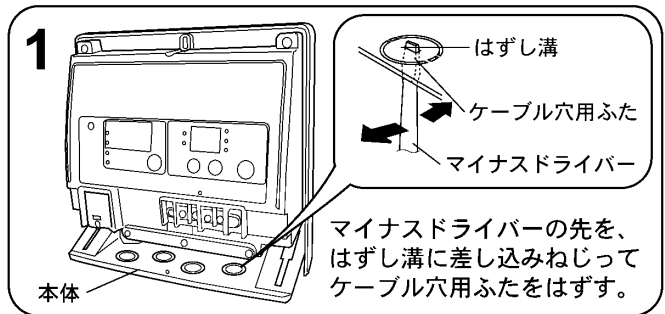
⚠注意 取付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となります。

●電動商品・照明器具は別途お買い求めください。

- 1 本体のケーブル穴用ふたをはずす
- 2 ケーブルをケーブル穴に通す
 - 専用のケーブルを使用してください。
 - ケーブル押さえのネジをゆるめ、ケーブルをケーブル押さえに通してください。
- 3 ケーブルを出力端子に接続する

接続が不完全な場合、火災の原因となります。

 - 極性（+黒・-白）を合わせてください。（間違えて結線すると器具が動作しない場合があります。）
 - Y字端子を奥まで確実に差し込んでください。
 - 出力端子のネジを確実に締め付けてください。接続不良による火災の原因となります。
- 4 ケーブル押さえのネジを締付けケーブルを押さえる

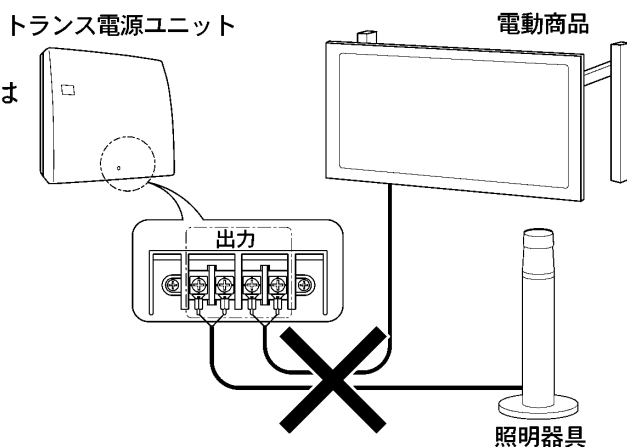
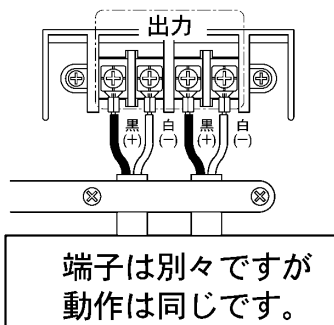


■接続容量について

	電動商品	照明器具
電動商品(DC12V)に使用する場合	最大2台まで (1台20W以下)	× 使用不可
照明器具に使用する場合	× 使用不可	<ul style="list-style-type: none"> ■キセノン電球5W×7台まで。 ■キセノン電球10W×3台まで。 ■9W蛍光灯(DC12V) 11W×3台まで。 ※最大35Wの範囲内で照明器具の組合せが可能です。 例：9W蛍光灯×1台(11W)+キセノン電球5W×4台(20W)

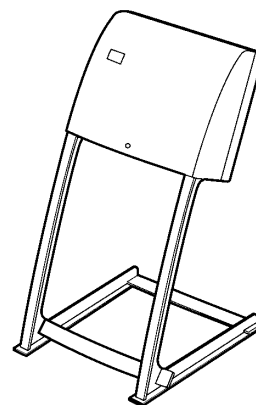
※電動商品と照明器具は、出力モードの設定が異なる為、同時に接続することはできません。

●出力端子について



■据え置き取付けする場合

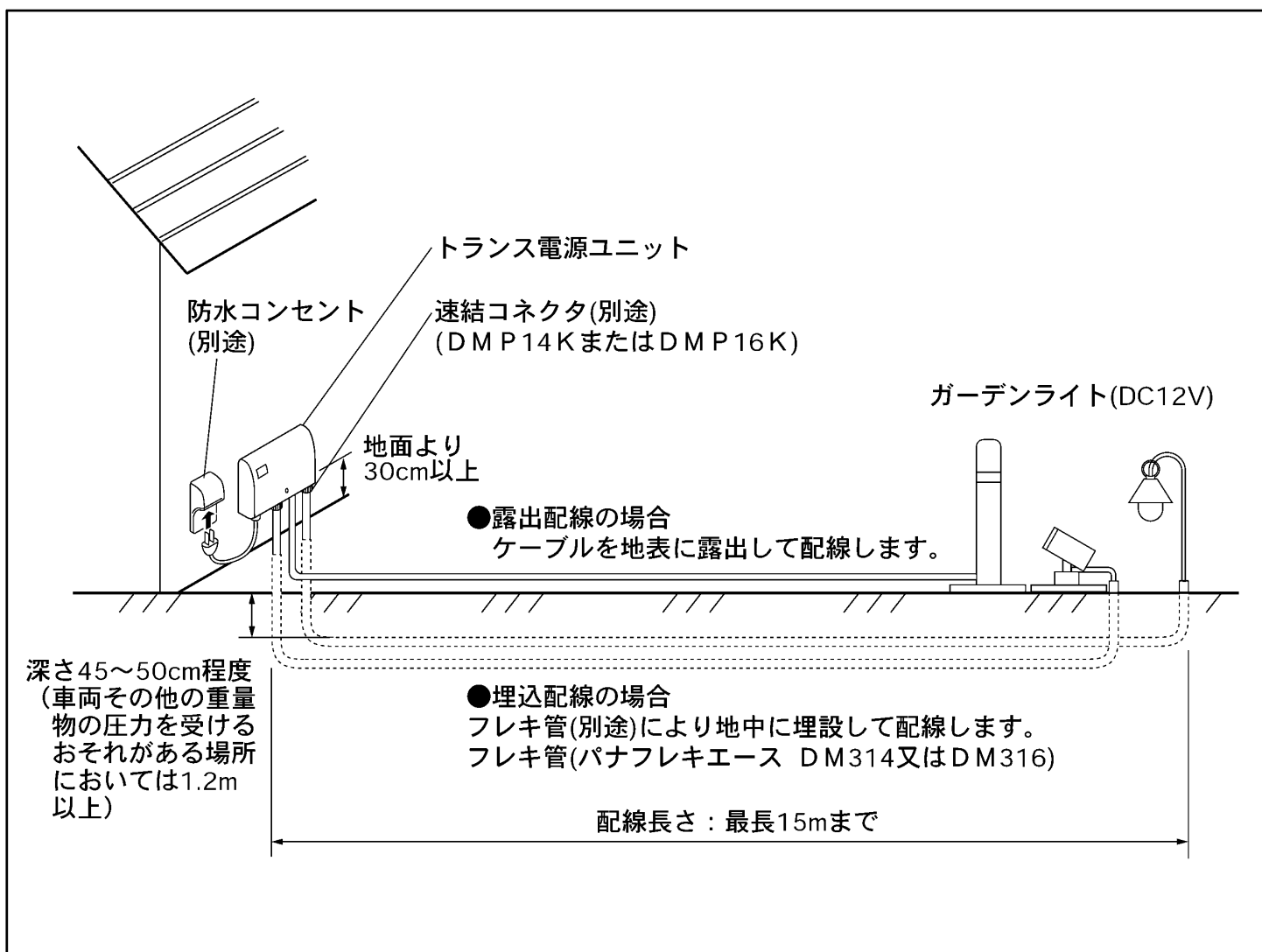
- 別売スタンドを使用すると据え置き取付けができます。
- 据え置きの場合、壁面の前に設置してください。
置き場所によっては器具が転倒し、故障の原因となります。
(取付け方法はスタンドの取扱説明書を参照ください。)



■AC100V電源線の接続方法

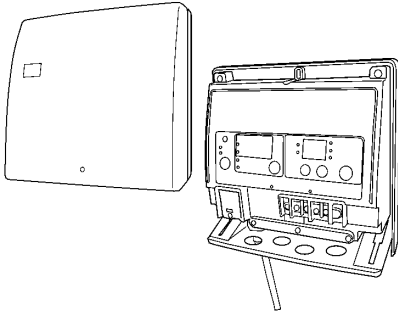
- 防水コンセントを必ず設置してください。
- 差し込みプラグを防水コンセントに確実に差し込んでください。
(差し込みが不十分な場合、火災・感電の原因となります。)

配線図



付属品

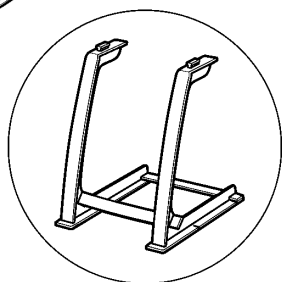
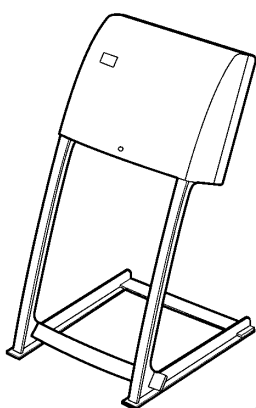
部品名	入数
トランス電源ユニット	1



部品名	入数
木ネジ	2
コンクリート用プラグ	2
取扱説明書	1
保証書	1

- トランス電源ユニットを施工し使用するには次の部材が必要な場合があります。別途ご準備ください。

■据え置き取付けをする場合



トランス電源ユニット用スタンド（別売）
商品コード：LYH73(またはLPT87)

■ケーブルの長さをもっと長くしたい場合

- ・電動商品(DC12V)に接続する場合、必ず専用ケーブルが必要となります。

	長さ	商品コード
トランス用電源ケーブル	10m	KAR13(またはLPT82)
	20m	KAR14

- ・照明器具に使用する場合、専用のケーブルを配線距離に応じてご準備下さい。

	長さ	商品コード
エクステリアライト用電源ケーブル (別売)	5m	LYH81
	10m	LYH82
	15m	LYH83


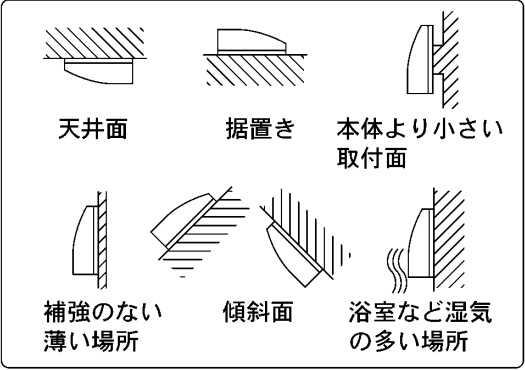
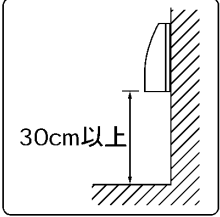

- 注) ・照明器具には2.5mのケーブルが同梱されています。
・トランス電源ユニットと末端器具の距離は、ケーブル1本あたり最大15mまでとしてください。

■照明器具までのケーブルを地中に埋設する場合


- ・地中埋設用合成樹脂管(内径φ16またはφ20)および本体への接続コネクタ。
- ・松下電工製品番
パナフレキエース：DM314またはDM316
速結コネクタ：DMP14KまたはDMP16K

安全に関するご注意

警告

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■このトランス電源ユニットは交流100ボルト以外では使用しないでください。(負荷にする器具は直流12ボルト以外使用しないでください。)過電圧を加えると火災・感電の原因となります。 ■器具のすき間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。 ■布や紙などの燃えやすいものをかぶせたりしないでください。火災の原因となります。 ■電源線・ケーブルを、足を引っ掛けそうな場所に配線したり、地中に埋めないでください。けがや故障の原因となります。 ■濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。 ■電源線・ケーブルを無理に曲げたり、引張ったりしないでください。電源線・ケーブルが損傷し、火災・感電の原因となります。 ■電源線・ケーブルに重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。電源線・ケーブルが損傷し、火災・感電の原因となります。 ■接続する電動商品・照明器具は、接続容量内で使用してください。接続は確実に行ってください。接続容量をこえて使用したり、接続が不十分になると、火災の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■こんな場所には取付けないでください。この器具は防雨型、壁面取付専用です。火災・感電・落下の原因となります。 <div data-bbox="992 398 1519 766">  <p>天井面 据置き 本体より小さい取付面</p> <p>補強のない薄い場所 傾斜面 浴室など湿気の多い場所</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ■地面より30cm以上離して取付けてください。冠水の時、火災・感電の原因となります。 <div data-bbox="1299 842 1519 1057">  <p>30cm以上</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ■不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
 <p>分解禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■器具を改造したり、部品交換をしないでください。火災・感電の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■カバーは必ず閉めた状態でお使い下さい。回路部分に雨水などが入ると火災・感電の原因となります。 ■異常を感じた場合、速やかに差し込みプラグを抜いてください。施工店または、最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。

注意

 <p>必ず守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■必ず差し込みプラグを持って抜いてください。電源線を引っ張ると線が傷つき、火災・感電の原因となります。 ■電源線・ケーブルが痛んだら使用をやめ、電器店に修理を依頼してください。電源線・ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。ガス機器やその排気筒の上には取付けないでください。火災の原因となります。 ■このトランス電源ユニットに接続する電動商品・照明器具は直流12ボルト用器具以外は使用しないでください。他の器具を接続しますと、火災・感電の原因となります。
---	--	--

修理を依頼される前に

(下記の点検をお願いします。)

現象	考えられる原因	処置
作動しない。	差し込みプラグがはずれている。	差し込みプラグをコンセントに差し込む。
	「点灯モード」がOFFになっている。	「切替」ボタンで使用する状態を選ぶ。 設定方法 (P9)
	ケーブルがはずれている。	出力端子にケーブルを確実に接続する。
	極性(+黒・-白)を間違えて接続している。	極性(+黒・-白)を合わせて接続して下さい。
	負荷の合計消費電力が容量を超えている。	接続する負荷数を減らし、最大負荷容量以内にしてください。
	ケーブルが短絡している。	端子台周辺などでケーブルが短絡していないか確認して下さい。
決めた時刻に電源が切れない。	「現在時刻」と「OFF時刻」が設定されていない。	「現在時刻」と「OFF時刻」の設定をする。 設定方法 (P9、P10)
朝になっても電源が切れない。 夜になっても電源が入らない。	センサ検知窓が隠れている。	センサ検知窓を隠さないで下さい。
	街灯などで周りが明るい。	「明るさセンサ」レベルを上げる。 設定方法 (P10)
	物陰などで周りが暗い。	「明るさセンサ」レベルを下げる。 設定方法 (P10)
表示灯が点滅している。	「現在時刻」が設定されていない。	「現在時刻」の設定をする。 設定方法 (P9)
照明器具が点滅する。	照明器具をトランス電源ユニットの正面に設置している。	・照明器具の設置場所をかえる。 ・「明るさセンサ」レベルを上げる。 設定方法 (P10)

左記の処置を行っても現象が続く場合

処置した後になお異常がある場合は、必ず差し込みプラグを抜いてからお取付けの施工店または、最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。

保証について

- このトランス電源ユニットには保証書がついています。
- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項の記入を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。